

エンジニアパーク

Engineer Ring Park

私は大学時代に植物の分布など環境科学を専門としていました。年の大半は山の中で過ごすような生活で、亜高山帯の林の調査を行っていました。1994 年(平成 6 年)に今の会社に入ってから、いろいろな業務を担当させていただき、今年で 24 年目になります。はじめの 10 年程は仕事の大半は植物などの環境調査で、学生時代の専門分野を生かした業務を担当させていただきました。

現在は環境調査関係に加えて、農業土木に関するいろいろな分野も経験させていただき、仕事の幅を広げることができました。最近は農業水利施設の機能診断や補修設計が業務の中心です。いろいろなことに手を出しすぎて、何が何だかわからないようなことになっていますが、ふと思い返してみると「農業農村の持続可能な発展」に対して「多面的」に取り組めたということで、何だか政府の政策にも合致しているのではないかと一人納得している今日この頃です。しかし成果品の品質向上については、まだまだ不足な面がたくさんあり、業務の幅と同時により高いレベルのコンサルティングができるように研鑽を積みたいと考えています。

いまは妻と中学生の長男と 3 人で暮らしていますが、なかなか家族の時間をとるのが難しいのが悩みです。ライフワークバランスということが言われて久しいですが、残業で自分や家族の時間を持っていないのは本末転倒だと思います。健康に留意して、また次世代の若い人たちのためにも魅力あふれる職場、業界にしていきたいと思います。

柳川 健一 (やながわ けんいち)

●建設部門(建設環境)

勤務先

北王コンサルタント株式会社
札幌支社



→次号は、岩井剛さん(建設部門)

私は東京都で生まれ、1999 年(平成 11 年)の大学入学を機に北海道に移り住みました。モノに溢れた都会より、大自然に囲まれた生活に憧れたからです。大学院卒業後、縁あって建設コンサルタント会社に就職し、主に自然環境調査の仕事に 12 年間従事しています。この間に男の子 2 人を出産し、母親としても多忙な毎日を送っています。

弊社では数年前から、林野庁や森林管理局発注の業務を受注しており、私も担当者として森林を対象とする調査に携わるようになりました。主な業務内容としては、地球温暖化防止対策のための二酸化炭素の吸収量を試算するために、森林内の立木の樹種、胸高直径、樹高の計測や、病虫害や気象害の確認、林床の植生調査などを行っています。また、同様の目的で森林土壌の採取と分析の業務にも昨年から従事しています。

業務を手掛けるうち、日本の森林の現状についての知識や経験不足を痛感したことが、技術士試験受験のきっかけでした。技術士の受験勉強の内容は、手がけている業務内容に即しており、業務の遂行にあたって大変参考になるものでした。また、森林に関する知識を網羅的に得たおかげで業務への理解度が増し、自信を持って仕事に取り組むことができるようになった事も、私にとってはかけがえのない財産になっています。

技術士としてはまだまだ未熟ですが、資格を取得したことにより、社会への責任感が増したように思います。これからも技術の研鑽に励み、森林に関する仕事を通じて社会に貢献できる人材へと成長していく決意です。

川尻 綾子 (かわじり あやこ)

●森林部門(森林環境)

勤務先

株式会社セ・プラン
環境部



→次号は、中村 裕さん(森林部門)